



会津大学 後援会だより



学長あいさつ

評価ということ

会津大学長

岡 隆一

評価ということは、いろいろ難しい内容をもつてゐるようです。いつの時代も、またどこでも、人は他人からの評価にさらされているものです。評価を気にしないこと自体、「評価」へのひとつの態度で、評価の存在を前提にしていますね。よく知られたことわざに、「千里の馬は常に有れども伯樂は常には有らず」というのがあります。その意味は、名馬はいつも、またどこにでもいる可能性はあるが、それを見抜き、評価できる人である伯樂はいつの時代もそういうものではない、という意味ですね。つまり、名馬の存在は伯樂の存在で担保されていて、評価の大しさを示唆しています。それゆえ、ゴッホやセザンヌも生前には高く評価されないということも起こるのです。

モーツアルトの生涯を描いた「アマデウス」という有名な映画があります。ここには、3人の主たる登場人物がいます。オーストリア皇帝ヨーゼフ2世、宮廷作曲家のサリエリ、それにモーツアルトです。この3人について、作家の塩野七生さんは面白い評価をして

第40号

発行：会津大学後援会(事務局 学生部学生課)

発行日：2018年8月1日

住所：〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀

電話：0242-37-2515 (FAX0242-37-2526)

URL：<http://www.u-aizu.ac.jp>

います。つまり、3人は順に、凡才、秀才、天才であるとの評価です。凡才は、既に定まった評価に従順であり、秀才は、天才を世間の評価に関係なく、評価することができるが、自分は天才ではない。そして天才は、神に愛でられた人間であると。天才の才能は当人のものではないともいえます。サリエリは、自己の能力がある意味冷静に評価していました。塩野さんによると、「アマデウス」は秀才の悲劇を描いたもののことです。世間には、他人を正しく評価できず、自己の能力を実際より高く評価する人もいます。しかし、サリエリとは異なり、他人の能力や良いところを正しく評価しない人は、自分の能力や良いところも正しく評価できないのではないかと思われます。

そして、評価の定まっていることに興味を持ち、その方向に抵抗なく突き進むのは、それ自体、評価に値する能力といえるのではないでしょうか。研究者であることの素質として、運、鈍、根があるといわれますが、これは上記の話と通じるところがありますね。数多くの論文を理解し、何でも知っていて、様々な技量を身に着けている秀才研究者は「鈍」の才能に恵まれていない可能性があるということになりそうです。

才能は自分ではどうにもならないものなのか、気持ちの持ち方でなんとかなるものか、分かりませんが、神に愛でられていないわれわれにも「救い」があってほしいのです。



会長あいさつ

フロントラインの研究を

会津大学後援会長

高野延光

新入生の皆さんもだいぶ新しい環境に慣れてきた頃だと思います。先日知り合いの会津大学の1年生と偶然に会いました。彼は推薦で早めに合格が決まったのですが、その後も一般入試で受験する生徒と一緒に、また試験を受けると思えるほど勉強していたということを聞いていました。大学の近くのアパートで一人暮らしをしているとのこと。さらに後援会の朝食券に助けられており、新たな友人たちと毎朝話しながら朝食をとり、それから授業に出ていますと話してくれました。それを聞いて、とてもうれしい気分になりました。そんな輪がさらに広がってほしいと思います。

さて、会津若松市では鶴ヶ城にほど近い場所にビルが形を見せ始めました。これは市のICTオフィス事業の一環で、この場所を中心にICT関連の新たな産業を創設し雇用を生み出し、地域を活性化しようとするものです。さらに、ICTにより市民の利便性を高める事業も様々計画されています。このように市では将来のビジョンを持って新たなまちづくりが着々と始まっています。そしてそこには会津大学の協力があります。地元の人達は大いに期待し、大学の大きな存在を感じています。

さらに今年は戊辰150年の記念の年であり、地元会津では、様々な行事が行われています。学生の皆さんには、研究室に閉じこもってばかりではなく、こうした行事にも参加しこの地の人たちの思いも感じ取ってほしいと思います。そうした触れ合いがこれからいつも順調とばかりはいかないであろう人生の潤いとなり、また自分の研究にも何らかのヒントを与えてくれると信じています。

会津大学はいまや予想以上に世界でも評価が高まっています。学生の皆さんにぜひその分野の最先端を見せてほしいと思います。それがそれぞれの研究のイン

センティブになり、より先を見た社会人に成長してくれると思います。会津大学の学生の皆さんが次の150年を見ながら活躍されることを願っています。

2018年度会津大学後援会活動について

会津大学後援会では、学生の健全で快適な学生生活を支援するため、福利厚生事業、学生会・学園祭実行委員会への助成、就職活動支援など様々な事業を実施しております。2017年度決算及び2018年度事業計画・予算につきましては、4月3日に開催しました2018年度後援会総会において下記のとおり承認されました。

2018年度会津大学後援会決算

1 収入		(単位：円)
科 目	決 算 額	
会費	13,250,000	
雑収入	7,054	
バス利用料	145,000	
繰越金	6,215,572	
計 (a)	19,617,626	

2 支出

科 目	決 算 額
会議費	52,506
事務費	637,607
事業費	12,184,068
学生課外活動助成費	5,000,000
厚生及び進路対策費	5,985,558
研修等助成事業費	243,420
スキルアップ奨励事業費	955,090
記念事業積立金	500,000
予備費	0
計 (b)	13,374,181
当期收支差額 (a)-(b)	6,243,445
次期繰り越し	6,243,445

2018年度事業計画（案）

(年月日)	(主な事業の概要)
2018年	4月～翌3月 クラス活動助成
	4月～翌3月 TOEICテスト支援（実施経費、申込手数料他）
	4月～翌3月 就職活動交通費補助、就職活動宿泊費補助
	4月～翌3月 ボランティア活動費補助事業
	4月～ 朝食定期券補助
	4月3日 2018年度後援会総会及び第1回後援会役員会
	4月4、5日 新入生宿泊オリエンテーション経費補助
	4月15日 春期情報処理技術者試験送迎バス運行
	7月 学生会への助成、学園祭実行委員会への助成
	8月 後援会だより（第40号）発行
	10月6日 会津大学報告会 保護者のための就職講演会 修学相談会 【同窓会共催】懇親会
	10月6日 第2回役員会
	10月21日 秋期情報処理技術者試験送迎バス運行
	2019年 3月 後援会だより（第41号）発行
	3月 第3回役員会
	3月21日 卒業記念パーティ

2018年度会津大学後援会予算

I 2018年度会津大学後援会予算

1 収入		(単位：千円)
科 目	2018年度予算額	
会費	12,450	
雑収入	1	
バス利用料	250	
繰越金	6,718	
計	19,419	

2 支出

科 目	2018年度予算額
会議費	150
事務費	700
事業費	12,330
学生課外活動助成費	5,000
厚生及び進路対策費	5,730
研修等助成事業費	1,000
スキルアップ奨励事業費	600
記念事業積立金	500
予備費	5,739
計	19,419

II 2018年度記念事業積立金予算

1 収入		(単位：千円)
科 目	2018年度予算額	
積立金（2018年度分）	500	
雑収入	1	
繰越金	1,469	
計	1,970	

2 支出

科 目	2018年度予算額
該当科目なし	0
計	0

2018年度 会津大学後援会役員

役 職	氏 名	
名誉会長	岡 嶽 一（会津大学長）	
会 長	高 野 延 光	
副 会 長	猪 俣 一 枝	杵 鞭 正 光
監 事	長 谷 川 由 香	長 峯 幸 治
委 員	大 庭 一 哉	國 分 文 子
	日 下 部 久 一	須 藤 育 子
常 任 委 員	高 宮 誠	山 下 弘 美
	中 村 修 二	（会津大学事務局長）

学内ニュース

2017年度学位記授与式

2018年3月20日（火）、会津大学講堂にて2017年度学位記授与式が開催されました。コンピュータ理工学部卒業生219名、大学院博士前期課程修了生57名、大学院博士後期課程修了生2名、論文博士1名の計279名が、それぞれの進路で社会への貢献を目指します。

授与式では岡塙一学長が学部卒業生総代の佐藤功二さん、博士前期課程修了生総代の穴澤和也さんのそれに学位記を授与しました。岡学長は、「皆さんには、社会に出るにせよ、大学院に進まれるにせよ、悪戦苦闘の連続の日々が待っていると思っていて間違いありません。ここをどのように通過するかは、皆さんの成長の機会であると同時に、皆さんのがんばりと器が決まるところでもあります。回り道も、必要であれば、時には遠慮なくするのも一案です。大震災から7年が経過し、これから福島、そして日本の復興を本格的に

稼働、加速する時期となっています。皆さんには、コンピュータサイエンティスト・エンジニアとして、日本どこにいても、この復興へ参加、貢献することが、大いに期待されています。」と式辞を述べました。

答辞では、学部卒業生代表の新明洋平さんが「今後様々な困難が立ちはだかるでしょうが、会津大学で身に着けた知識と技術がそれを乗り越えさせてくれると確信しています。同時に、地域社会・国際社会に貢献できる人材になれるよう日々邁進していく所存です。」と誓いました。

授与式終了後には、記念写真撮影及び個人学位記の授与、学生食堂にて後援会主催の卒業記念パーティーが行われました。学生生活最後となるこのパーティーは、和やかな雰囲気の中で行われ、参加者たちが歓談や記念撮影を楽しんでいました。



在学生表彰

2018年3月30日（金）、2017年度各学年の成績優秀者に表彰状が贈られました。

会津大学では、GPA（Grade Point Average）による成績評価を導入しています。GPAは大学における成績評価方法の国際標準として認知されており、就職や大学院への進学、海外留学にも重視されているものです。

表彰式では、岡学長が表彰状と副賞の図書カードを成績優秀者にそれぞれ手渡しました。成績優秀者は以下のとおりです。なお、卒業生は学長賞、優秀賞として学位記授与式にて表彰されました。

2017年度成績優秀者

※1 受賞時

学年※1	氏 名		
1	熊谷 祐飛	本間 祐樹※2	村木 匠弥※2
2	中村 朗	星 桃子	小笠原 匠
3	小名 達也	本田 凌	飯田 貴登

※2 同率二位のため順不同



2018年度入学式



2018年4月3日（火）、2018年度入学式が挙行されました。

当日は晴天に恵まれ、内堀雅雄福島県知事をはじめとするご来賓の方々をお迎えし、和やかな雰囲気の中

にも厳粛な式となりました。式では学部入学生252名、学部生編入1名、博士前期課程53名、博士後期課程6名、合計312名全員の名前が読み上げられ、岡学長が入学許可を宣言しました。

学長は入学生を歓迎し、「福島県は震災から7年が過ぎ、皆さんのが学ぶICT技術を通じての特段の貢献が、皆さんのが自分で考える以上に期待をされています。」と式辞を述べました。入学生を代表して相澤朋英さん（コンピュータ理工学部）、納谷かごめさん（博士前期課程）が宣誓を行いました。

入学式の後、入学生全員での記念撮影が行われました。記念撮影の後には軽音部によるバンド演奏が行われ、在学生によるサークル活動紹介の声も響き、学内は新入生を歓迎する活気で満ち溢っていました。

喜多方ロータリークラブから寄贈されたオオヤマザクラに銘板が設置されました

喜多方ロータリークラブから昨年寄贈されたオオヤマザクラに、この度（2018年4月20日）、銘板が設置されました。

当日は春本番の暖かい日差しが照らす中、喜多方ロータリークラブ鈴木会長を始め、ロータリークラブの関係者の皆さま、岡理事長や本学でロータリー米山奨学金を受給している留学生等により、記念撮影が行われました。

当日は春本番の暖かい日差しが照らす中、喜多方ロータリークラブ鈴木会長を始め、ロータリークラブの関係者の皆さま、岡理事長や本学でロータリー米山奨学金を受給している留学生等により、記念撮影が行われました。

オオヤマザクラは、本学のバスターミナル付近に植樹されております。

これからも喜多方ロータリークラブと本学との交流のシンボルとして、大きく成長し、会津地方に春を告げる美しい花を咲かせ続けるでしょう。



ハミード・サジ教授をリーダーとする研究チームの研究論文が英科学誌に掲載

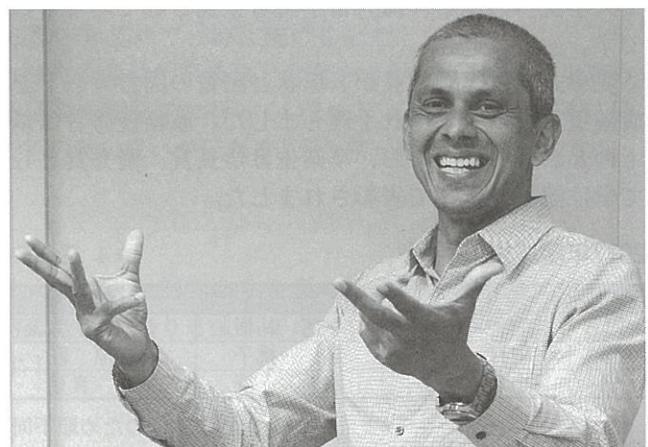
コンピュータ理工学部のハミード・サジ教授をリーダーとする研究チームが「スーパーエルニーニョ現象」のメカニズムに関する研究論文が、英国科学誌「ネイチャーコミュニケーションズ」のオンライン版に掲載されました。

エルニーニョ現象は南米ペルー沖の赤道に位置する海域で海面水温が高くなる現象で、貿易風が弱まることで生まれ、異常気象の要因として知られています。

スーパーエルニーニョ現象は、そのエルニーニョ現象がさらに激化したもので、これまで「スーパー」級の発生要因は太平洋にあると考えられていましたが、サジ教授以下研究チームは、その発生にインド洋が影響を与えていることを解明しました。

この研究論文では、海水温や大気の流れのデータを基に、インド洋の海水温変化で発生した強い西風が太平洋に伝播してエルニーニョ現象を強めるメカニズムを明らかにしています。サジ教授は「台風や洪水、大

干ばつなどの異常気象をもたらすスーパーエルニーニョ現象の予測精度が高まる可能性があり、暖冬や冷夏などが及ぼす日本の経済活動への影響を前もって予測し、対策を打つことも可能になる」と話しました。



会津大学の海外派遣留学支援事業

〈研修報告〉山内 隆広さん（海外中期派遣 ローズハルマン工科大学：アメリカ イアナンディ州）

私はアメリカのローズハルマン工科大学に半年間（2017年8月～2018年3月）留学しました。エンジニアトップ校だけあり、ローズハルマンでの授業は徹底的に実践力を鍛える事に力を入れており、大変でしたがとてもやりがいのあるものでした。ソフトウェアエンジニアの登竜門にあたるプログラミングの授業では3、4人でチームを作り、プログラムの設計図をはじめ、作業の分担から実際のプログラミングまで1からゲームを作り上げました。その他にもArduinoを使い、チームでInfinite MirrorといういくつものLEDが色を変えながら綺麗に光る部屋のインテリアを作り上げ、人生で初めてビッグデータサイエンスに触れました。理論だけでなく、実際に自分の手を動かして物を作り上げる経験はとても楽しく、勉強になりました。

教授やTAはとても協力的で、授業で分からぬ所



があればいつでも相談に行くことができました。おかげで組み込みシステムの授業では全くハードウェアの知識が無かった私でも、学期の終わりには授業で学んだことが理解できるようになっていました。

また、学生はとてもオープンで、一度授業であっただけでもすぐに友達になることができました。仲のいい友達と食事をしながら話をしたり、授業のことや私生活のことや相談にのってもらったことは今でもいい思い出です。秋学期の終わりには友達に連れられて、ニューヨークへロードトリップをしました。辺り一面トウモロコシ畑の中で夕陽が沈んでいく光景は、昨日の事のようにはっきりと覚えています。

ローズハルマンでは、1人1人が様々な考え方や文化を持っており、彼らとの交流や協力して物を作り上げる経験ができたことは、とても誇りに思います。ローズハルマンには日本人学生はいません。しかし、完全に日本とは異なる環境で1から人間関係を築き、英語しか使えない中で新しい分野に挑戦し新たな知識、経験を得て単位を取得できたことは、私にとって大きな自信になりました。

今回ローズハルマンに留学したことで、私自身の隠れたポテンシャルに気づかされました。初めは授業の内容についていけるかどうか、大学で孤立しないか心配でしたが、友達からのサポートや教授の手厚いガイダンスで乗り切ることができました。

今後はローズハルマンでの経験を活かし、グローバルな環境で通用するエンジニアになれるよう、見知らぬことにもチャレンジして行きたいと思います。

学生作成ビデオ紹介コーナー

短期留学の学生派遣が成功裏に終了しました。戸惑いながらも学生は現地の学生やホストファミリーと英語で友好を深め、日本では体験できないような素晴らしい思い出をたくさん持ち帰ってきたことだと思います。

昨年度同様、参加したすべての学生は派遣先で日本語が話せない人にインタビューを行い、その様子を録画、編集し、字幕を付け、5分程度のビデオに仕上げましたので、是非ご覧下さい。

■学部3年 阿片るみなさん（ニュージーランド）

<https://youtu.be/wgh7BCCzNvI>



《阿片るみなさんからのコメント》

春休みにニュージーランドのワイカト大学へ留学をしに行きました。

なぜ留学をしようと思ったか、それは英語に対する意識を変えたかったからです。留学に行く前、私は正直英語が嫌いでいた。しかし、外国に対する興味はありました。そこで、話せるようになるには、まず自分の意識を変えなければ、と思い留学しました。留学して数日は、ホストファミリーの言っていることがほとんどわからなく、あまり積極的に話しかけることができませんでした。しかし、ホストファミリーは常に話しかけてくれたため、私もそれにこたえたいと思い、わからなかった単語をメモし、スマートフォンで調べていました。しかし、その場で直接単語の意味を聞くことで、それ自体が英語の勉強になり、直接調べるよりも良い勉強であることがわかり、留学後半は積極的に話せているようになりました。この3週間で得た経験がこの動画に詰まっていると思うので、見て頂ければ幸いです。

学生の活動紹介 ーこのコーナーは学生が書きましたー

学生会活動紹介

こんにちは、学生会執行部です。私たち学生会執行部は学生会員がより良い学校生活を送ることができるよう充実させることを目標に頑張っています。

2017年度の主な活動

◎学生会総会運営

学生会総会とは、学生の学生生活における決め事を審議し決定する場です。主な決め事は予算や決算、学生会則についてです。これらのこと以外には、直接学生会員から意見や提案を取り入れる場としても開催されます。その学生会総会の開催、告知、運営を行っています。具体的には、4月に昨年度の決算総会が行われ、5月に今年度の予算総会が行われます。



◎イベント運営

学生会執行部では、毎年、クリスマスパーティー（写真）、新入生歓迎会を開催しています。クリスマスパーティーは、学生食堂を利用し、音楽サークルによる演奏とともに食事をする立食型パーティーとなっていて、毎年多くの学生が参加しています。新入生歓迎会は新しく入学してきた新入生を迎え、あらたな学生生活に慣れてもらうために、サークル、部活紹介を行う場となっています。サークルの勧誘を通して新入生と上級生とのふれあいを行うことができ、さらに学生会執行部が主催するbingo大会も行うため、新入生同士のつながりも作ることができ、交流の場としても活用されています。

学園祭実行委員会

こんにちは、学園祭実行委員会です！

私たちは10月6日(土)、7日(日)に開催される蒼翔祭に向か、日々準備を行っております。

昨年度は地域の皆様のご協力や多方面からのご協力もあり、例年を越える5400人近くのご来場を賜りました。

【日 時】

10月6日(土) 10:00開場／18:00終了予定

10月7日(日) 10:00開場／19:00終了予定



【今年のテーマと活動方針】

本年度は「一致協力 so show 才！」をテーマに学祭委員が準備に励んでいます。委員が個々の才能をすべて発揮し、よりレベルの高い学祭を作ろうという熱い思いを込めて目標に掲げました。

また今年は学祭委員で合宿を行うなど組織の質を高める活動も積極的に行ってています。ご来場された方々に私たちの熱い思いが伝わるよう、精一杯頑張っています！

【企画について】

毎年恒例の大抽選会で豪華賞品を用意しているのはもちろんのこと、例年ある企画も新1年生を中心にアップグレードを行いより面白く、楽しんでいただけるような内容になっております！またパフォーマーの悠雲さんや外部からバンドを呼ぶなど蒼翔祭に華を添えていただきます！

いつもとは一味違う蒼翔祭をぜひお楽しみください！

企画などの詳細は蒼翔祭公式ホームページ、Twitterをご覧ください！

蒼翔祭公式ホームページ：<http://soshosai.dip.jp/>

蒼翔祭公式Twitter：<https://twitter.com/soshosai> (@soshosai)

保健室より 「健康、ストレスとレジリエンス」

看護師 阿部さえ子

レジリエンス(Resilience)とは「回復力」「復元力」あるいは「弾力性」とも訳される言葉で、近年よく聞かれる言葉です。元々は、ストレスとともに物理学の用語ですが、最近では心理学の分野でも使われます。心身の健康状態で考えるとストレスが「望ましくない状態」を意味し、レジリエンスは「望ましくない状態を跳ね返す力」意味します。つまり、レジリエンスとは「望ましくない状態」が起きて一時的には望ましくない状態になってもそれを「跳ね返す力」なのです。

一晩の睡眠不足は翌日の睡眠で十分な時間と質を確保できれば解消できますが、それが二日、三日と続き、疲労が蓄積した状態になると集中力が落ち効率が悪くなるだけでなく、血圧が高くなる、脈が乱れるなどの症状の他、教室や研究室で座っている姿勢でも突然に意識を失うことがあります。血圧が高くなったり脈が乱れていても自覚症状が無く、健康診断で指摘されたり、たまたま保健室を訪れた時に自動血圧計で自己測定したら見つかることもあります。

不安があると寝つきが悪くなり眠りが浅くなることは、だれもが一度は経験したことがあると思います。不安（望ましくない状態）を理由とする睡眠不足（望ましくない状態）を改善するためには、不安が無くなる見通しを立てなければなりません。

では、不安をなくすにはどうしたらよいでしょうか？

私がお勧めする方法は、不安を生きるための欲求充足の欠如に伴うサインとらえ、①不安を生みだしている「自分の欲求は何か」に気付き、②「自分の欲求を充足」するために自己報酬型目標を設定し、③具体的、現実的、期間限定し、実行自信度が高い行動を見つけることです

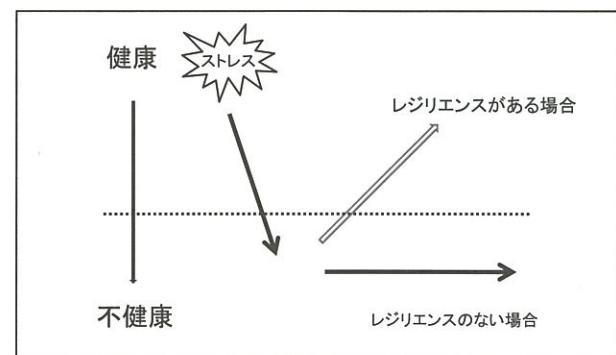
（望ましくない状態を跳ね返す力）。そうすれば、不安な感情を解消できる見通しがたち、睡眠不足は解消されていくでしょう。

ストレスを感じない生活はありません。ストレスは私たちの健康を維持する大切なサインです。健康に生きるとは欲求充足の欠如に伴う不快さを避け、その欲求充足行動の連続だからです。

アメリカ精神医学会では、「レジリエンスを築く10の方法」を提唱しています。

1. 親戚や友人と良好な関係を維持する。
2. 危機やストレスに満ちた出来事でも、それを耐えがたい問題として見ないようにする。
3. 変えられない状況を受容する。
4. 現実的な目標を立てそれに向かって進む。
5. 不利な状況にあっても決断し行動する。
6. 損害を出した闘いの後には自己発見の機会とする。
7. 自信を深める。
8. 長期的な視点を保ち、より広い視野でストレスフルな出来事を検討する。
9. 希望的な見通しを維持し、良いことを期待し、希望の視覚化をする。
10. 心と体をケアし、定期的に運動し、自分のニーズと気持に注意を払う。

レジリエンスの考え方



ストレスを友としてレジリエンスを發揮し、心身ともに健康な生活を送りましょう。

(不安などの感情が強くてレジリエンス力を發揮できない時は、保健室にご相談ください。)

修学支援室 Office for Learning Support

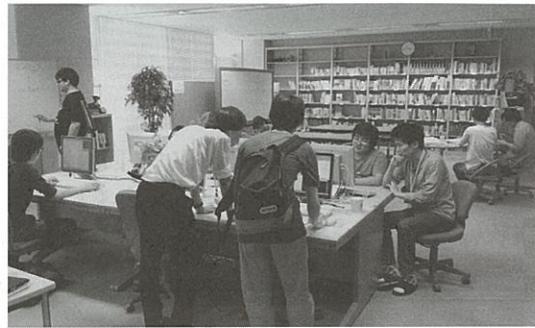
修学支援室は、講義や演習だけでは内容を十分に理解できなかった際に、先輩に相談・質問できる場として研究棟2階に設けられています。支援室内には本学卒業生が務める修学支援員及び、大学院生・学部生によるアシスタント（TA・SA）が待機しており数学系科目からコンピュータ系科目まで幅広く対応しています。パーテーションで区切られた自習室も備えており、特にテスト期間には多くの学生がそれらの設備を利用しています。

線形代数ワークショップ

今年度の1学期にTAによる線形代数ワークショップを行いました。高校の授業では行列の内容を扱っていませんが、この取り組みにより線形代数を学習する上で必要な基礎力の底上げを実現しています。

臨時開室

テスト期間前には学部生向けに日曜日に修学支援室を臨時に開室しています。授業で忙しく修学支援室に来る暇がない、休日に誰かに質問したいことがあるなどという学生を対象に修学支援室を開放しています。



LT会（Lighting Talks）

IT業界の勉強会でよく実施されるLT（5分間で行う短いプレゼン）を参加者との質疑応答を通して実践的な対人コミュニケーションの場を設ける目的で昨年度から実施しています。テーマは基本的に自由ですが参加者にとって得るものがあることを目的としています。

修学支援室 電話：0242-37-2758 FAX：0242-37-2747（研究棟2階246E）

E-mail：ofls@u-aizu.ac.jp URL：<http://www.u-aizu.ac.jp/campus/support/learningsupport/>

2017年度進路結果

会津大学の2017年度卒業生の就職率（就職者／就職希望者 2018年5月31日現在）は学部が98.1%で、前年同期差0.5ポイント減、博士前期課程の就職率は前年同様に100%でした。近年の好景気を反映して、上場企業や大手企業からの内定が増えています。

2017年度進路決定状況（2018年5月31日現在）

		進路希望	決定者数
就職	民間企業	149	146
	県内	26	26
	県外	123	120
	教員	3	3
	公務員・団体等	8	8
	起業・家業	2	2
合 計		162	159
就 職 率		96.0%	
		進路希望	決定者数
進学	本学大学院	48	48
	他の大学院	3	3
	海外の大学院	2	2
	合 計	53	53

主な就職先（一部抜粋）

【県 外】

パイオニア、リコージャパン、井関新潟製造所、アクセンチュア、野村総合研究所、ソフトバンクテクノロジー、富士通エフサス、三菱電機インフォメーションシステム、京セラコミュニケーションシステム、ヤフー、セガゲームズ、コロプラ、JR東日本、東京電力

【県 内】

アルパイン、シグマ、アルプス電気、会津富士通セミ・コンダクター、エフコム、福島コンピュータシステム、東邦銀行、会津中央病院、会津若松市、喜多方市

後援会事務局からのお知らせ

10月6・7日（土・日）の2日間にわたり学生主催の「蒼翔祭」（学園祭）が開催されます。後援会では蒼翔祭に合わせて、10月6日（土）に「大学報告会」「就職講演会」「保護者のための各種相談会」の実施を予定しています。詳細については同封の案内をご覧ください。みなさまのご参加をお待ちしております。